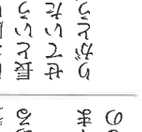
支部長の言葉



第7代支部長
華本 数則（昭42卒）

支部会員の皆様方には、日頃より支部の行事・活動に深いご理解とご協力を頂きまして、私は昨年7月23日の第46回定時総会にお選びいただきました。また、私は昨年7月23日の第46回定時総会にお選びいただきました。「やまびこ」の人物遺稿は記事の原稿を長年に亦り執筆されて、まだ初の女性支部長として頂きました。前任の眞野支部長はそれを頂くことになりまして、校陵会一筋に活躍された物識時代と指導のご経験をお願いしまして、この度、「やまびこ」の編集をお願いする次第です。

物識時代は三度目の執筆になりますが、この度のご指名を光栄に思っております。

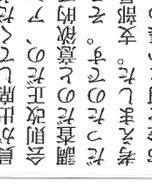
近年校陵会員の減少傾向が続いております。4月には三度市市内3校が統合され、池田高校が3月末に創立100周年を迎えます。そうしたなかでも、各地の参加が少なくなっていることは、支部長の大任を引き受けるとともに、校陵会の行事が停滞したりゆるがせにできない状況であり、ナ禍の中でもなるべく多くの会員が増えないかと思っております。

物識時代と同様の力を出せるかいなやか心配も致して参ります。

新生池田高校及び新生桜陵会近畿支部としていかにあるべきかを取り組む課題として役員の皆さまと歩調を同じくして参りたいと考えております。

会員の皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

退任の言葉



第6代支部長
眞野 春美（昭31卒）

令和5年夏の総会で支部長を退任致しました。6年間の在任中、ご支援、ご協力いただきました皆様に心よりの感謝申し上げます。

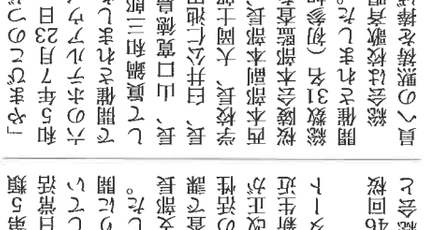
支部長にと言われた時、私は、「遂に来たか」と思いました。年々会費納入者が減少し、「さまびこ」発行もおぼつかなくなっている現状を知っていたので、近畿支部創立から関わり、「やまびこ」を産んだ責任を終えたって、支部が円満に手渡せるよう意味を込めて、調査だけでも意欲的で前向きでいたのです。そこで私は考えました。支部長としてお金を何とか集めたい。その想いが通じたのか任中に約百万円の寄附金をいただきました。近畿の関係もない古里の友人からの寄附金には心打たれました。退任してもこの心残り、なるべく水らく活躍され、須川野球部の活躍を期待しています。池田町出身。昭和45年卒。（文・眞野春美）

第47回近畿支部定時総会
7月28日（日）に開催

第47回近畿支部定時総会を7月28日（日）午前11時30分からホテルアウトーレットパーク（天王寺区）で開催します。

本総会は議事（令和5年度の活動・決算・同監査報告）、令和6年度の活動計画）に続き懇親会（事前に事務局までお申し込みください。）

総会参加者

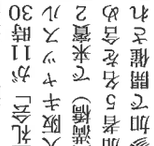


総会風景

りは却金のことばかりです。会費納入者はどうしたら増えるのか、会費の値上げは可能なのか、いろいろ質問が出ました。「やまびこ」のように人数を減るのは…。

このような機関紙「やまびこ」が長年続いているのは、会員の皆様方のご協力と賛助会員制を導入していただいたからです。

新支部長挨拶



第7代支部長
華本 数則（昭42卒）

5月からコロナが第5類に移行したことで、日常活動が戻りはじめ止していた開催する運びとなりました。

令和5年7月23日（日）に上六のホテルアウトーレット大阪で開催されました。来賓として眞鍋和三郎高校校長、山口寛德高校桜会長、吉井公仁池田高等学校学校長、大岡上郎池田高校副本部長、松嶋範.眞野本部支部長、吉井公仁池田高校桜会長、山口寛德高校桜会長、山口寛德高校桜会長、山口寛德

着任のご挨拶

池田高等学校長
原　史麿

「しののめの上野が丘に花めぐり」歌い慣れた校歌は、今も変わることなく後輩に受け継がれています。桜陵会近畿支部の皆様には、本校教育の発展に深いご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

私は、蔦監督率いる「やまびこ打線」が全国をあっといわせた昭和59年（高35回）の卒業生です。母校に勤務できる喜びを日々噛みしめながら、地域とともにある池田高校のために努めてまいります。

今年度、私は校長として「日本一」を目標に掲げました。生徒には一人一人大切な命、個性、そして長い時間をかけ育ててきた自分らしさがあります。それは唯一無二であり、日本にたった一つしかありません。私たち教職員は総力を挙げ、日本一の生徒たちの夢の実現を応援します。そして、未発掘のキラリと光る日本一を、生徒とともに探究し・発見し・磨き・育てていきます。

現在、旧サンライズ跡地には、1階を三好市が、2・3階を本校が管理運営する全国でも珍しい形の寮が建設中です。三好市民と池高生の交流が深まる拠点として大いに期待されています。

「たたえよ池高　輝く池高　おお我らが池高」池田高校のさらなる進化です。今後の池高生の活躍に、ご支援・ご声援をよろしくお願いします。

東口寛 元会長ご逝去

桜陵会元会長
東口 寛氏

令和5年10月23日、桜陵会元会長東口寛氏が逝去されました。88歳。平成15年（2003）から平成23年（2011）までの8年間、桜陵会長としてご指導いただき近畿支部の総会、新年会には欠かさず出席され、折々の挨拶では桜陵会員の活躍情報、「あの池田」の話題、そして（近畿支部は）他に類のない素晴らしい会だ、などと多くのエールをいただきました。

また、会長退任にあたり母校へ体育館にはなかったグランドピアノを寄贈されるなど母校発展に貢献されました。

令和4年11月、母校100周年記念式典でお会いし、お変わりのないお元気な姿がお見受けしたのが最後となりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

池高だより

桜陵会事務局
池本 広美

近畿支部の皆様、日頃は本校教育にご協力いただき心からお礼申し上げます。池田高校は、4月8日に新入生154名を迎えて新たなスタートを切り、「質実剛健」を体現すべく、勉強に部活動に、生徒たちはいきいきと頑張っております。

さて昨年度は、新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、体育祭や東雲祭などの学校行事の制限を大幅に緩和して行うことができました。

また、東京方面への修学旅行も再開されました。生徒たちが最も楽しみにしている行事を無事に実施することができ、私たち教職員も安堵したところです。

また、部活動においては、インターハイにおいて山岳部が6位入賞、国民体育大会レスリング競技において2名が5位入賞を果たしました。探究活動においても「第2回中高生日本語コンテスト」のリサーチ部門において特別賞を受賞するなど、スポーツと文化活動の両方で活躍してくれました。

今後も池高生がさまざまな場面で輝くことができるよう、教職員一同で頑張って参りますので、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

（4月12日記）

事務局長就任のご挨拶

事務局長
國金　達（昭42卒）

昨年7月23日の第46回定時総会で華本事務局長の後を受け事務局長に就任致しました。前任華本事務局長は、凡そ11年間近畿支部運営にご尽力をいただき、会員減少や会費納入減等難しい局面に立たされながらも、新しい観点から会則の見直し等をはかり支部運営に邁進いただきました。

経験なく統率力に乏しい私ですが、会員皆様方のご支援、ご協力を頂きながら、魅力あるそして活力のあふれる近畿支部にするべく微力ながら尽くすつもりですのでよろしくお願い申し上げる次第です。

（高槻市在住）

新役員のご挨拶

理事
西浦 誠二（昭57卒）

昨年7月の支部総会で役員に選任されました。若輩ではありますが在任中は微力ながら会の発展に尽力致しますのでご支援よろしくお願いします。

年々若者人口が減って会員数の減少も懸念されますが、新しい会員が増えるにはどうすればいいか？どうすれば若い方の興味が湧く会になれるのかというのを自分の課題にして取り組んで行きたいと思います。

（大阪市中央区在住）

桜陵会近畿支部役員一覧表

令和5年7月31日現在

支部長	華本 数則（昭42卒）異動	
副支部長	田邊 光江（昭33卒）再任	國金　達（昭42卒）異動
	内田 賀久（昭33卒）再任	川原 達夫（昭47卒）再任
	浦泉 洋志（昭37卒）再任	
理事	小西 滋美（昭35卒）再任	西浦 誠二（昭57卒）新任
	佐竹 勝久（昭42卒）再任	吉田 倫子（平10卒）再任
監査	原田　稔（昭31卒）再任	鈴木 宣康（昭49卒）再任
会計	吉田 倫子（平10卒）再任	
事務局長	國金　達（昭42年）異動	副事務局長 川原 達夫（昭47卒）異動
顧問	堀　三芳（昭26卒）再任	眞野 春美（昭31卒）異動
	井上　恵（昭28卒）再任	谷内 秀美（昭38卒）再任
	森上　修（昭30卒）再任	

多額の寄附金で改善

令和4年度決算報告

2年・5年会費を納入いただいた方が多く、多額の寄附もいただき、未だ繰越金はマイナスではありますが収支は大きく改善した一年でした。ゆうちょ銀行の手数料改定のため入金にかかる振込手数料が増えています。

（吉田）

寄付（順不同）

大森　信子様（昭35卒）5万円
堀　三芳様（昭26卒）3万円
眞野　春美様（昭31卒）3万円

ありがとうございました。

令和4年度 決算報告書

桜陵会近畿支部

（自）令和4年4月1日　（至）令和5年3月31日

収入の部			支出の部		
	科目	金額（円）		科目	金額（円）
1	年会費	463,200	1	事務通信費	39,230
2	新年会会費	188,000	2	諸会議費	12,809
3	寄付金	410,000	3	徳島県人会費	10,000
4	前期末繰越金	▲474,562	4	本部関係費	47,125
			5	「やまびこ」関係費	219,250
			6	「やまびこ」発送費	123,262
			7	新年会案内等作成費	66,650
			8	新年会案内等発送費	53,508
			9	総会キャンセル料	52,000
			10	新年会関係費	187,300
			11	新聞・機関紙広告代	38,000
			12	振込手数料	32,371
			13	次期繰越金	▲294,867
	合計	586,638		合計	586,638

繰越金明細

① 資産　現金　4,640円
普通預金／郵便局　760,093円
計　764,733円

② 負債　年会費預り金　1,059,600円

差引繰越金　① － ②　▲294,867円

【桜陵会近畿支部会則】

第1章　総　則

（名称）

第1条　この会の名称は徳島県立池田高等学校桜陵会近畿支部（以下本会という）と称する。

（目的）

第2条　本会は第4条に定める会員相互の連絡と親睦を図ると共に、徳島県立池田高等学校桜陵会本部（以下本部という）と協力し母校の発展に資することを目的とする。

（事務局）

第3条　本会に事務局を置く。事務局は支部長宅か、支部長が指定する所に置く。

第2章　会　員

（会員）

第4条　本会は、下記の会員をもって組織する。
1.通常会員　徳島県立池田中学校、及び同池田高等学校卒業者で近畿地域在住者とする。なお、同校に在籍した者や近畿地域外の在住者で本会の趣旨に賛同し入会を希望する卒業者。
2.特別会員　母校旧職員で近畿地区在住者。

（会費）

第5条　通常会員は年会費を納めることとする。

（入退会）

第6条　入退会は以下のとおりとする。
1.本部の桜陵会名簿に記載されている者は通常会員として入会したものとし、退会を希望する場合は事務局に連絡し退会できる。退会者には納入済の年会費の返却は行わない。
2.本会の名誉を著しく毀損した者は除名されることがある。

第3章　役　員

（役員の種別）

第7条　本会に、次の役員を置く。
1.支部長　1名　通常会員から総会において選出する。
2.副支部長　若干名　上に同じ。
3.理事　若干名　上に同じ。
4.事務局長　1名　通常会員から、支部長が委嘱する。
5.会計　1名　上に同じ。
6.監査役　若干名　通常会員から総会において選出する。
7.顧問　若干名　総会において委嘱する。

（役員の職務）

第8条　役員の職務は次のとおりとする。
1.支部長　本会を代表して会務をつかさどる。
2.副支部長　支部長を補佐し、支部長が職務を遂行できない場合は会務を代行する。
3.理事　会務の企画、運営にあたる。
4.事務局長　事務を担当する。
5.会計　会計を担当する。
6.監査役　事務及び会計を監査する
7.顧問　会務の諮問を担当する。

（役員の任期）

第9条　役員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。なお、補充役員を選任した場合の任期は前任者の残存期間とする。

第4章　事　業

（事業の種類）

第10条　第2条の目的を達成するために、次の事業を行なう。なお、実施にあたっては個人情報保護法など各種法令を遵守し、自主的、民主的に行なう。
1.会員相互の連絡、親睦を図るための会合行事。
2.機関紙「やまびこ」の発行。
3.近畿支部ホームページの運営。
4.母校の発展に寄与すると認められる事業。

（総会）

第11条　総会は本会の最高議決機関として支部長が招集して開催する。
1.毎年1回開催する。ただし、必要に応じ、臨時総会を開くことがある。
2.総会の議事は、会務及び会計報告、役員選任などを諮り、出席会員の過半数の賛否により可否を決定する。議長は支部長が務める。

（役員会）

第12条　支部長は必要に応じて第7条に定める役員を招集し、事業執行を決める。

（同好会）

第13条　各種同好会・サークル活動を主催または支援する。

第5章　会　計

（収入）

第14条　収入は通常会員の年会費、寄付金、その他収入のほか、その都度徴収する臨時会費による。

（余剰金）

第15条　余剰金が生じた場合は、次年度に繰り越し本会の基金として積立てる。

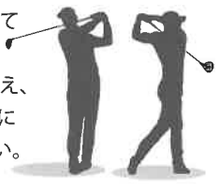
（会計年度）

第16条　本会の会計年度は、毎年4月1日にはじまり、翌年の3月31日までとし、会計報告は総会において行なう。

付　則

1.この会則は令和5年7月24日より効力を発する。
2.注：制定改訂記録は割愛

春・秋 年2回開催 桜陵会ゴルフコンペ



昭和57年（1982年）に参加者20名で宇陀カントリークラブにおいて第1回を開催して約40年の歴史を重ねてきたゴルフコンペです。

平成22年（2010年）、年2回開催してほしいというリクエストに応え、以降、春、秋2シーズン開催で今日に至ります。多くのゴルフ愛好家に支えられているコンペです。参加希望者は事務局までご連絡ください。

2023.9.20 開催

第54回 優勝は初参加の古泉さん（昭54卒）

第54回桜陵会ゴルフコンペは、9月20日（水）に西宮高原ゴルフ倶楽部（西宮市）で11名（初参加1名）が参加して行われました。優勝は初参加の古泉夏市さん、準優勝は窪原和弘さん（昭40卒）、第3位は七田勝正さん（昭43卒）、BB賞は華本数則さん（昭42卒）でした。

2024.5.22 開催

第55回 優勝は窪原和弘さん（昭40卒）

第55回桜陵会ゴルフコンペは、良い天候に恵まれ5月22日（水）に10名が参加し新奈良ゴルフ倶楽部（奈良市）で行われました。優勝は窪原和弘さん、準優勝は山下好夫さん（ゲスト）第3位は西浦誠二さん（昭57卒）、BB賞は七田勝正さん（昭43卒）でした。初参加は2名でした。
次回（秋）は令和6年9月25日（水）を予定しています。

令和6年度行事予定

＜近畿支部関係＞
- 5月22日　第55回ゴルフコンペ
- 7月28日　第47回定時総会
- 9月25日　第56回ゴルフコンペ
- 11月3日　家族ハイキング
- 1月19日　新年互礼会

＜「やまびこ」発行＞
- 7月1日　第77号発行

＜本部・支部・県人会関係＞
- 6月23日　桜陵会本部総会
- 9月7日　徳島県人会近畿連合会総会と県人の集い
- 10月12日　徳島支部総会
- 1月12日　徳島県人会近畿連合会新年互礼会

家族ハイキング『好天に恵まれた五月山公園』

川原 達夫（昭47卒）

参加者のみなさん

令和5年11月3日『晴れの特異日』につき今回も快晴。まっこと有難きなり。阪急池田駅集合。参加は精鋭？の10名。挨拶の後に、軽いストレッチをしていざ出発。池田市役所前を抜け、まず最初に茶臼山古墳へ立ち寄りました。此処の古墳は、堺仁徳天皇陵とは違い、階段が有り、てっぺんまで登れます。ただ遥か昔のお偉いさんのお墓を踏んづけるようで、多少ながら心が痛みました。数ある登り口の一つから五月山公園の展望台を目指しました。このコースはとてもなだらかな初心者向けコースなので談笑しながらでも登ることが出来ました。一時間位で展望台到着。一気に視界が広がり離着陸する伊丹空港の飛行機、梅田、あべのハルカス、生駒山まで見渡せました。

此処にも大文字焼きの火床があって、毎年8月24日に火付けを行うそうです。和やかに昼食を摂ってから五月山動物園へゆるやかな山道を下山。珍獣ウォンバットに面会です。この木登りできないコアラ似のウォンバットは、ブサ可愛くてとても人気があり多くの見学者でにぎわっていました。日本では二か所の動物園にしか居らず、三頭居る此処は日本一とか。池田市の親善大使にもなっていて商店街や池田駅などあちこちに銅像が置かれています。愛くるしいウォンバットに会えてホッコリ出来た良い一日となりました。次回は令和6年11月3日（日）文化の日を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

次回は「高槻・摂津峡」

戦国武将・三好長慶ゆかりの芥川山城跡（三好山）を訪ね、秋の渓谷美を楽しみませんか。アップダウンは緩やかなコースです。

- ●日　時/ 11月3日（文化の日）午前10時20分
  JR高槻駅　中央改札口集合（目印は支部旗）
- ●コース/ JR高槻駅～バスで「塚脇」まで移動～渓谷コース（白滝）～芥川山城跡（三好山）～山腹自然林コース～「塚脇」バス停～JR高槻駅。（徒歩は約5㎞）
- ●その他/ 事前申込不要。雨天中止 ＜連絡先＞川原 090-9164-0025

やまびこ短信

「やまびこ留学」のすすめ

同窓会ホームページ（ビキタ）でご存知の方もあるかと存じますが、「事務局から重要なお知らせ」として「『やまびこ留学』のすすめ」がアップされています。

県立新寄宿舎に入所する希望者の募集です。新寄宿舎は徒歩5分ほどの市内中心部（旧サンライズ・ジャスコ跡地）に建設中で2025年春から入居可能（定員70人）。現在、県外出身者の在校生は30人。

「桜陵会会員の皆様方には、池田高校への『やまびこ留学』をご家族やご親戚、お知り合いの方々等にご紹介いただければと案内チラシを作成しました。」と、母校への進学を勧めていただきたいとしています。

お問合せは、池田高校「やまびこ留学」担当まで。
電話 0883-72-1280

総会案内がほしい

「今まで一度も桜陵会から連絡いただいていない。総会案内がほしい」という方がいました、と事務局に連絡が寄せられました。本部発行の「桜陵会名簿」で調べると住所欄にはアスタリスクマーク（＊）が。当人は長年にわたり住所明記を避けていたようで、対象者全員リストから漏れていたことが判明。近畿支部は個人情報保護法を順守し桜陵会活動以外に名簿を使うことは一切ありません。このケースのような方がたくさんいるかも知れません。是非、事務局にご一報を

「桜陵会支部だより」休みます

これまで、各支部のご協力で4回にわたり東京支部、中部支部、徳島支部、愛媛支部をご紹介してきましたが、残る高知、香川、美馬支部につきましてはいずれ掲載することとしますのでご了承ください（事務局）

やまびこ抄④ 新会則は好機

近畿支部の会則は、創立以来、本部の「桜陵会々則」を基に制定し部分改正を重ねてきました。平成30年に会員の意識調査「近畿支部に関するアンケート」を実施し、回答を分析検討した結果、会則を抜本的に改正することになり昨年の第46回定時総会で承認されました。（会則は別掲）

支部創立の黎明期、草創期は野球部の甲子園活躍が求心力の全てでしたが、半世紀近い歴史を紡ぐと、会員の高齢化に伴う会費納入者の著しい減少で、財政面から支部活動が大きく損なわれてしまいました。年会費と寄付金で賄えていた「やまびこ」発行・全員配布が出来なくなったのです。昭和58年創刊以来、40年近く年2回定期発行し（令和元年の72号から年1回に減）、桜陵会名簿に掲載されている近畿在住者すべてに（会費未納者を含め）同窓会情報を届けるという活動が続けられなくなっています。

新しい会則では、「会員」に会費納入を求め、「事業」では明記されていなかった機関紙「やまびこ」の発行とホームページの運営を明記。これまで以上に会員相互の交流と親睦を図るため情報提供が重要との考えから、「やまびこ」とホームページ（平成15年開設し20年以上が経ちます）を支部活動の要（かなめ）として、より重要な役割を担うことになりました。

歴史ある他の高校でも、少なからず同窓会が低迷しているという事情を聞きますが、私たち近畿支部にはこれまでに連綿と続けた活動ノウハウがありますので、新会則の制定を機にアップデートしましょう。

ともあれ、5年後の令和11年（2029年）には創立50周年を迎えます。新会則は『活力ある近畿支部』再スタートの好機と考えたいものです。

まずは身近なところから学年同窓会で旧交を温め、支部総会にはグループで参画し、先輩、後輩と交流する…。今こそ母校愛、郷土愛溢れる数多くの協力支援者が求められています。

（やまびこ抄③「創立100周年と近畿支部」は、2022・6・25ホームページに掲載しました。）

祝 第47回定時総会

（順不同）

税理士・不動産鑑定士
堀三芳事務所
堀 三芳
〒530-0043 大阪市北区天満2丁目12番20号
TEL（06）6352-5721(代)～5番
FAX（06）6352-5720
（昭26卒）

モリウエ Nuts & peanuts
食品・製菓原料等の輸入と卸売
株式会社モリウエ
代表取締役 相談役 森上 修
〒542-0072 大阪市中央区高津3-2-27
TEL（06）6644-1233
FAX（06）6644-0306
（昭30卒）

ヘヤ&フェイス カレン
大森 信子
〒553-0007
大阪市福島区大開1-5-21
（野田阪神本通り商店街）
TEL（06）6468-6255
（昭35卒）

㈲タケウチ食品商会
代表 竹内 秀行
〒639-0251
香芝市逢坂8-208-4
TEL（0745）76-1275
（昭36卒）

趣味&ライフワーク&ボランティア

私と少年野球

窪原 和弘（昭40卒）

私のボランティアは少年野球！昭和54年（1979年）から地域の少年野球を始めて現在迄46年間、人生の半分以上は少年野球と共に過ごして参りました。少年野球に携わった頃は、まだまだ地域単位での活動でしたが、時代の流れと共に少年野球観が変わり、今では京都府の「精華アトムズ」で頑張っています。少年野球を通じてチーム独自で以下の2つの取り組みを行っています。

一つは、ふるさと三好市山城町の少年野球チームとの親善交流です。阪神淡路大震災の翌年（1996年）から、毎年親善交流を29年間続けています。10周年（桜）20周年（紅葉）とふるさとに植樹した記念樹もすくすくと成長し私たちの交流を見守ってくれています。一昨年プロ野球選手がDeNA：松尾捕手（精華）と西武：山口投手（山城）の同期二人が誕生したことは、誠に嬉しいことで近い将来に二人の対決を夢みています。

二つ目は、私のチーム精華アトムズでは、2003年から『これからリーグ』を立ち上げ、現在も近隣2府1県のチームが参加してリーグ戦を開催しています。『これからリーグ』の誕生は、「野球をしたくてチームに入ったのに、球拾いばかりで面白くない、あまりルールも知らないけど試合をしたい…」という子供達の声にそれならばと3年生以下でリーグ戦を開催したらどうか？と言うことになり近隣チームに声掛けしたことが始まりで4チームからスタート、最大28チームの参加を得ました。第10回大会から地域ケーブルテレビ「KCN京都」様の協賛を受け『これからリーグ』に華を添えて頂いております。日本全国何処を見ても2府1県にまたがる3年生以下を対象とした大会はないと自負しています。

最後になりますが、ボランティアには多種多様の団体が有りますが、何れにしても我身が健康でなければ成り立ちません、これからも健康第一で交流を深めて行きたいものです。

（京都府精華町在住）

ふるさとあれこれ㉚

中村 竜司（平3卒）

お宝エリア

三好ジオパーク構想 日本ジオパーク認定申請へ！

現在、三好市と東みよし町の全域を「日本ジオパーク」として認定を受けるため申請中です。

普段生活していると、当たり前になり、気にも留めなくなってしまいがちですが、わたしたちの住むこの地域はお宝だらけなのです！

急峻な山々に点在する集落、その土台となる「ろくい（ゆるやかな）」土地は大地と深くかかわっていて、太古よりの度重なる中央構造線の活動（地震）による隆起と地すべりを繰り返し形成されたものだそうです。

また、厳しい自然環境ゆえに、そこで独自の文化が育まれ、守られ、語り継がれてきています。

祖谷のかずら橋や傾斜地農法、厳しい自然の中で生活するための知恵として語り継がれてきた「妖怪伝説」ほかにはないここだけのものがたくさんあります。この宝を守り、継続可能な形で活用し、未来へとつないでいくことを目標に取り組まれています。

お宝のひとつ「落合集落」

申請書の提出とプレゼンテーション審査が終了し、6月から8月の現地調査があり、9月下旬には可否が決するとのこと。皆様応援よろしくお願いいたします。

ジオパークとは…

科学的に貴重な地質地形の遺産、そしてそれらが大元となり形成された自然環境や文化などを守り、継続可能な形で活用するエリアのことです。

学年同窓会

久しぶりの懇親会

小西 滋美（昭35卒）

令和5年10月10～11日に神戸しあわせの村で親睦・懇親会が開催された。参加者は20名【関東3名、四国8名、近畿9名】

同窓会は卒業して40年ぶりに池田で開催し、その後各地で行い、最後は池田での第10回（54名参加）でいったん終了となった。

久しぶりに懇親会の案内を頂いたのは、コロナ禍、ウクライナの戦争など大変な日々で生活も一変し、心身共に疲弊し病気をしてて色々ケアーをしながらやっと“80歳の壁”を超えたばかりの時で、初めての遠出でもあり不安を抱えながらの参加だった。

3時に現地集合。懐かしい人たちと会ったとたんに、そんな心配も吹き飛んだ。夕方6時半に開会。黙祷や校歌斉唱のあとお酒が入ってからは賑やかなこと。共通の話題は健康法のあれこれ、近況報告は無しで、趣味や色んな活動、海外旅行の話、昔の写真をスライドで映した時は大いに盛り上がった。中でも一番のニュースは、西村誠介さん（横浜国立大学名誉教授）が、春に瑞宝中綬章を受けられたこと。本物の勲章を回し見させて頂き、皆で栄誉を拍手で称賛した。

二次会は部屋を移動して遅くまで談笑した由。翌日は10時に現地解散し、希望者は大阪あべのハルカスの展望台へ。次回はなるべく早く元気で再会をと約束し、別れを惜しみつつ帰宅の途に。お陰さまで元気を頂き気分一新、心和む癒しのひとときを与えて下さった幹事さんに心より感謝です。

（奈良市在住）

参加者のみなさん

会費納入ありがとうございました。

複数年会費を掲載させて頂いています。今後ともご協力をお願いします。

●年会費　1200円
●5年会費　6000円
●10年会費　12000円

【令和5年4月～令和6年3月末までの会費納入者】

※敬称略（）は卒年度

○10年会費納入者　7名

土井松子（33）今東和恵（38）井村さえ子（43）島田雅敏（52）沖本（山下）栄子（56）久保安代（H10）

○5年会費納入者　17名

南 綾子（30）山本貞恵（32）新井勝子（32）西川 貢（33）松村恭子（34）内田 寛（36）城埜秀夫（36）須藤善雄（37）丸岡昭文（42）田宮待子（42）谷 幸一（43）前川秀子（44）川原廣志（44）大野 廣（44）水上美紀子（45）濱村光代（46）武井亮太（H17）

○3年会費納入者　1名

藤本勝芳（42）

○2年会費納入者　2名

西尾恭典（36）厨子トミ子（36）

○1年会費納入者　32名

会費未納者は、本年度分より納入をお願いします。

年会費のお問い合わせは、会計・吉田まで

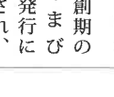
（☎090-3652-6102）

蛭子 武一さん（昭23卒）川西 大吉さん（昭25卒）酒井 英晃さん（昭26卒）杉山 繁雄さん（昭26卒）浦松 繁行さん（昭28卒）高井眞四郎さん（昭30卒）戸澤 章さん（昭30卒）藤本 勇さん（昭31卒）田岡 正孝さん（昭32卒）松代 正之さん（昭32卒）高比良ヒロ子さん（昭37卒）大西 武弘さん（昭37卒）月岡 正明さん（昭37卒）宮川 孝之さん（昭38卒）谷藤 孝二さん（昭42卒）松村さと子さん（昭43卒）渡辺 鈴江さん（昭50卒）嵯峨 治さん（昭51卒）住本 淑惠さん（昭51卒）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

訃報

脇田 美代子さん（昭32卒）



草創期の「やまびこ」発行に尽力され、30周年記念誌の「やまびこ」座談会で初代中村支部長の思い出を語っています。半生を養護学校などで福祉指導に従事。優しい思いやりと責任感の強い方でした。後年は副支部長としても多大なご尽力をいただきました。ありがとうございました。令和5年4月19日ご逝去。（やまびこ31号「人物歳時記」に登場。）

編集後記

4年間のコロナ禍を経て、日常が戻ったものの「AI」「分断」「格差」が溢れる今日。近畿支部は会則改正とともに新陣容でスタート。★支部長としてご尽力いただいた眞野春美さんの強力な桜陵会愛に応えることが私達の課題。★会員の皆様からあってよかった桜陵会と思ってもらえるよう努力はもちろん忌憚のないご意見をいただいて。

祝 第47回定時総会

（順不同）

丸岡公認会計士事務所
公認会計士 税理士 丸岡 昭文（昭42卒）
〒536-0007 大阪市城東区成育3-13-6大和工業ビル3階・4階
TEL（06）6932-6101・6102
FAX（06）6934-0126

さのや
2022～2023年度泉佐野市ふるさと納税スイーツ部門No.1「芋匠 さのや」
代表 西浦 誠二（昭57卒）
〒598-0011 大阪府泉佐野市高松北1-3-17
TEL（0724）68-6448
FAX（0724）68-6361

にし阿波BASE
合同会社 にし阿波BASE
代表 川原 春幸（昭57卒）
関西BASE 〒630-0252 奈良県生駒市山崎町4-10サンアイビル3F1号
TEL 0883-87-8343 FAX 0883-87-8333
Mobile:090-6551-3831 mail:kawahara@nishiawa-base.com
徳島Head Office 〒771-2502 徳島県三好郡東みよし町足代4016-3

桜陵会近畿支部 役員一同

木造建築・日本建設・設計施工 株式会社 木又工務店
取締役会長 木又 健次（昭39井内中卒）
取締役社長 木又 誠次
〒575-0033 大阪府四條畷市美田町19-38
TEL（072）879-1814
FAX（072）877-1973

三好市地域交流拠点施設『真鍋屋』
MINDEキッチン
ウマバ・スクールコテージ
〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ2226番地3-1
TEL（090）7629-3000

ご宿泊・ご宴席
ご家族の記念日
ご法要に
AWINA
ホテルアウィーナ大阪
大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12
TEL 06-6772-1441（宿泊）
TEL 06-6772-1445（宴会）
（9:00～19:00）